



歯周病は糖尿病の合併症！？

歯ぐきが変色（赤色や紫色）したり、腫れたりしていませんか？歯周病は年齢を重ねると増えてくる一般的な歯科の病気です。このありふれた病気が、実は糖尿病と意外に密接な関係があるそうです。

糖尿病患者さんでは歯周病の割合が増加します。また、意外に思われるかもしれませんが、歯周病を治療すると血糖値が改善するようです。ある糖尿病専門クリニックの調査では、歯周病について気を付けて歯磨きを定期的に行う習慣がある糖尿病患者さんたちは、歯磨き習慣がない糖尿病患者さんたちより血糖コントロールが良かったそうです。歯周病を予防・治療する習慣は、きちんとした生活をする事になりますから、糖尿病にとっても良いことなのです。

さらに、歯周病を起こしている細菌は血管の中にも入りこんで、全身の血管に炎症を起こして動脈硬化の原因にもなるそうです。心臓病や脳卒中の原因ともなりうる歯周病は、けっしてあなどれません。

当院では歯周病の恐れのある患者さんを歯周病専門治療が可能な近隣の「星野歯科」「ほたる野歯科」にご紹介して、歯周病の改善が患者さんの動脈硬化抑制や血糖改善に役立つかどうかを臨床研究しております。歯周病のことがご心配な患者さんはスタッフにお気軽にご相談ください。



糖尿病治療中、低血糖に注意しましょう

●**低血糖とは**：血糖値は様々な仕組みによって通常は70～140mg/dlに維持されています。これが何らかの異常で50～70mg/dl以下になると低血糖と呼ばれます。通常は自然に回復しますが、長時間続くと脳の機能が低下し、意識がなくなることがあります。

●**原因は**：糖尿病に対してのインスリンや経口薬、とくにインスリンの分泌を促進するスルホニル尿素薬やグリニド系薬剤の使用によるものです。これらの薬剤が効き過ぎたためです。食事が十分食べられない時に、薬をいつも通り使用したり激しい運動をしたりすると、低血糖は起こりやすくなります。糖尿病であってもそれらの薬を使っていない場合には、低血糖

はまず起こりません。

●**低血糖の症状は**：異常な空腹感・冷や汗・動悸（どうき）・手のふるえなど独特の症状で始まります。これらの症状は、昏睡（こんすい）などになる前の警告症状です。さらに低血糖が続くと目のかすみ・頭痛・ボンヤリする・ふらつくなど脳の機能異常の症状が現れ、ついには昏睡・けいれんなどの症状が現れます。

●**対処法は**：ブドウ糖や甘い食物・飲み物を摂取することで改善します。ただし、αグルコシダーゼ阻害薬（ベイスン・セイブル・グルコバイ）による治療を受けていると、甘い物の吸収が遅くなり低血糖症状が改善しにくいため、必ず吸収の早いブドウ糖を内服してください。

おめでとうロッセ日本ー！

千葉ロッテはクライマックスシリーズを奇跡的に勝ち上がり、日本シリーズを中日ドラゴンズと戦っておりました。そしてついに昨日11月7日に千葉ロッテは5年ぶりの日本一を勝ち取りました。千葉ロッテの優勝を心からお祝いするとともに、我々千葉県民を元気づけていただきお礼申し上げます。

ちなみに、私は今年11回千葉マリスタジアムに応援に行きましたが、9勝2敗、勝率82%でした！楽しかったなあ！



耳寄り情報



今年の7月11日に患者会「マイライフファミリー」の日帰り旅行で建設途中のスカイツリーを見に行きました。写真は浅草雷門の前から見たスカイツリーです。完成は2012年春だそうです。建設中のスカイツリーを見れるのも今だけですから、浅草観光もかねて行ってみたいいかがでしょうか。

冬季休暇のお知らせ

12月29日(水)～1月4日(火)にかけて、冬季休暇をいただきます。皆様にはご迷惑をおかけしますが、何卒ご了承ください。



脈波伝播速度

●血管の脈波の速度を調べると、血管の硬さを知ることができる動脈硬化の検査です。